

性教育と緊急避妊薬に関する 意識調査2026

【調査レポート・ダイジェスト版】

NPO法人ピルコン



PILCON
THINK ABOUT LOVE & LIFE!

本調査レポートに関するお問合せ：NPO法人ピルコン（[✉info@pilcon.org](mailto:info@pilcon.org)）

性教育と緊急避妊薬に関する意識調査2026 調査概要

- ✓ 調査目的：性教育や緊急避妊薬に関する一般市民の意識の実態や社会的ニーズ、性教育における「はどめ規定」の影響を明らかにすること
- ✓ 実施期間：2026年1月26日～2月2日
- ✓ 実施方法：Webアンケート調査
 - 対象者：全国の10代～60代男女（高校生・大学生含む）
 - 有効回答数：5,000名
 1. 若年層/高校生/15-18歳 400
 2. 若年層/大学生・社会人/18-24歳 800
 3. 保護者層/30-49歳 1600
 4. 一般市民/20-69歳* 2220 *20歳から5歳刻みで、別途割付し、220サンプルを均等に回収
→若者世代（15-24歳）、保護者（子ども有）について、それ以外の層と比較分析
- ✓ 調査主体：NPO法人ピルコン／調査協力会社：株式会社クロス・マーケティング
- ✓ 協力：公益財団法人ジョイセフ

調査結果から見えてきたこと

1. 学校での性教育において、若者や保護者の求めるニーズと実際の内容にはギャップがある
 - 「性教育に満足」と答えたのはわずか18%
 - 保護者の約8割が、避妊や性的同意を含む幅広い性教育を中学校までに教え始めるのが適切と回答
2. 性に関する信頼できる情報源がなく、相談しづらさを抱える人が多い
 - 情報源としてインターネットがトップだが、信頼できる情報源や相談先は「特になし」が最多
3. 「はどめ規定」「包括的性教育」の認知は少ないが、制限より充実を求める声が大きく上回る
 - 認知度は「はどめ規定」が約2割、「包括的性教育」は約3割
 - 若者世代の約4割が包括的性教育の導入を優先課題と捉えている
4. 2026年からの緊急避妊薬の薬局販売開始についての認知は約4割
 - 「販売場所」や「価格」の情報を求めており、性教育を含めた周知が急務

学校での性教育有無

- 全体では「受けた」(40.7%)が約4割、【若者世代】では「受けた」(59.2%)が6割近くを占める。
- 【それ以外】【保護者】は3割程度にとどまり、世代間での経験格差が大きい。

			(%)		
			受けた	ほとんど受けていない	覚えていない
n=					
全体		5,000	40.7	34.8	24.5
世代別	若者世代	1,420	59.2	20.9	19.9
	…男性・若者世代	380	56.6	21.3	22.1
	…女性・若者世代	1,023	60.4	20.9	18.7
	それ以外	3,580	33.4	40.3	26.3
保護者	保護者	2,248	35.0	41.0	24.0
	…男性・保護者	1,189	31.1	43.2	25.7
	…女性・保護者	1,056	39.4	38.4	22.3
	それ以外	2,752	45.4	29.8	24.8

Q 学校で性教育を受けた記憶はありますか？ (SA)

性教育の内容への満足度

- 全体では「どちらとも言えない」（57.1%）が最も多く、「満足・計」（18.0%）に対し、「不満・計」（24.9%）がやや上回る。
- 世代別では【若者世代】の「満足・計」（35.9%）が全体を上回り、近年の内容改善が寄与している可能性が考えられる。

		n=	不満・計		どちらとも言えない	満足・計 (%)		不満・計	満足・計
			全く満足していない	満足していない		満足である	十分満足である		
			n=30以上で						
			全体+10pt以上	全体+5pt以上					
			全体-5pt以下	全体-10pt以下					
全体		5,000	8.8	16.1	57.1	12.3	5.7	24.9	18.0
世代別	若者世代	1,420	4.4	13.4	46.3	26.1	9.9	17.7	35.9
	…男性・若者世代	380	6.6	9.5	46.1	27.4	10.5	16.1	37.9
	…女性・若者世代	1,023	3.6	15.0	46.3	25.9	9.2	18.6	35.1
	それ以外	3,580	10.6	17.2	61.4	6.8	4.0	27.8	10.8
保護者	保護者	2,248	11.2	17.5	60.3	7.2	3.8	28.7	11.0
	…男性・保護者	1,189	10.7	17.5	62.0	6.4	3.4	28.2	9.8
	…女性・保護者	1,056	11.7	17.5	58.4	8.0	4.3	29.3	12.3
	それ以外	2,752	6.9	15.0	54.5	16.5	7.2	21.9	23.7

Q 学んだ内容に満足していますか？ (SA)

学んだ／知りたかった／今、重要だと思う内容（選択式・最大上位3つ）

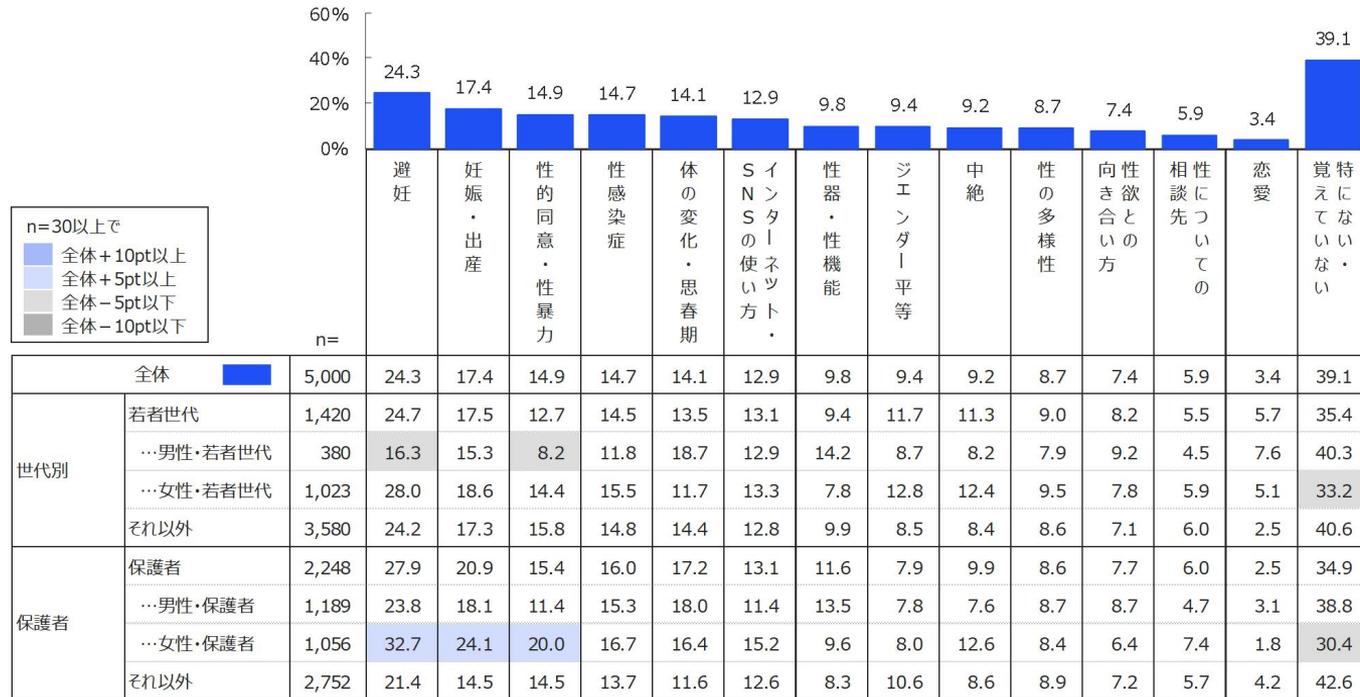
- 【学校で学んだ】では、「体の変化・思春期」（59.3%）「性器・性機能」（43.5%）「妊娠・出産」（42.1%）が高い。
- 【当時もっと知りたかった】では、「避妊」（16.2%）「妊娠・出産」（14.2%）が高く、【今、重要だと思う】では、「避妊」（24.3%）「妊娠・出産」（17.4%）に加え「性的同意・性暴力」（14.9%）も高くなっている。

		n=	体の変化・思春期	性器・性機能	妊娠・出産	避妊	中絶	性感染症	性的同意・性暴力	ジェンダー平等	性欲との向き合い方	性の多様性	恋愛	インターネット・SNSの使い方	性についての相談先	特にない・覚えていない
			n=30以上で ■ 項目内で1位 ■ 項目内で2位 ■ 項目内で3位 ■ 項目内で4位 ■ 項目内で5位													
内容	学校で学んだ	5,000	59.3	43.5	42.1	27.4	17.0	24.5	13.8	12.0	8.8	11.4	11.0	14.5	9.8	35.8
	当時もっと知りたかった	5,000	13.9	11.5	14.2	16.2	7.4	10.3	7.3	4.9	7.1	5.0	4.5	4.3	3.7	52.3
	今、重要だと思う	5,000	14.1	9.8	17.4	24.3	9.2	14.7	14.9	9.4	7.4	8.7	3.4	12.9	5.9	39.1

Q 次の項目について、(1) 学校で学んだ内容 (2) もっと知りたかった内容 (最大上位3つ) (3) 今、重要だと思う内容 (最大上位3つ) それぞれ当てはまるものを選んでください。【全体ベース】 (MA)

今、重要だと思う内容の性別・世代による差

- 【男性・若者世代】の「避妊」（16.3%）「性的同意・性暴力」（8.2%）についてが全体と比較して低い。
- 【女性・保護者世代】の「避妊」（32.7%）「妊娠・出産」（24.1%）「性的同意・性暴力」（20.0%）が高くなっており、自身の経験や社会的な情勢を背景に、これらの重要性を強く認識していると考えられる。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q 次の項目について、(1) 学校で学んだ内容 (2) もっと知りたかった内容 (最大上位3つ) (3) 今、重要だと思う内容 (最大上位3つ) それぞれ当てはまるものを選んでください。/今、重要だと思う (MA)

性教育開始に適切だと思う時期

- 全体では、全ての項目で中学校までが7割以上となり、「性器・性機能」（小学校54.6%）、「インターネット・SNSの使い方」（小学校53.5%）と、早期の教育開始を求める声が多い。
- 「避妊」「妊娠・出産」「性的同意・性暴力」の項目も「中学校」からが4割以上で最も高く、「小学校高学年」とする回答も2-3割で続く。

		(%)					
		小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	学校では 扱うべきではない	
内容	体の変化・思春期	n=5,000	18.3	51.9	16.8	3.7	9.3
	性器・性機能	5,000	9.2	45.4	29.4	6.1	9.8
	妊娠・出産	5,000	5.0	33.3	41.9	10.2	9.6
	避妊	5,000	3.6	26.1	46.7	13.9	9.7
	中絶	5,000	3.5	23.3	46.6	15.4	11.1
	性感染症	5,000	3.7	24.0	46.9	15.6	9.8
	性的同意・性暴力	5,000	5.6	23.9	43.7	16.4	10.5
	ジェンダー平等	5,000	11.5	27.7	33.7	14.0	13.0
	性欲との向き合い方	5,000	4.6	24.4	44.4	14.2	12.5
	性の多様性／恋愛	5,000	7.2	27.3	38.7	14.2	12.5
	インターネット・SNSの使い方	5,000	18.2	35.3	28.9	7.7	10.0
	性についての相談先	5,000	9.1	33.0	37.3	10.1	10.5

Q 次の内容について、「教え始めるのに適切だと思う時期」をそれぞれ1つ選んでください。【全体ベース】（SA）

性教育開始に適切だと思う時期／妊娠・出産

- 全体では、「中学生」（41.9%）が最も高く、「小学校高学年」（33.3%）も3割を超える。
- 【保護者】がより早期からの教育が必要だと認識している。

			(%)				
			小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	学校では 扱うべきではない
n=							
全体		5,000	5.0	33.3	41.9	10.2	9.6
世代別	若者世代	1,420	3.9	24.6	42.9	17.5	11.1
	…男性・若者世代	380	4.2	22.6	41.1	17.1	15.0
	…女性・若者世代	1,023	3.8	25.5	43.4	17.5	9.8
	それ以外	3,580	5.5	36.8	41.5	7.3	8.9
保護者	保護者	2,248	5.7	39.8	41.0	6.4	7.2
	…男性・保護者	1,189	4.6	38.9	42.1	6.2	8.2
	…女性・保護者	1,056	6.9	40.5	39.9	6.6	6.1
	それ以外	2,752	4.5	28.1	42.7	13.3	11.5

Q 次の内容について、「教え始めるのに適切だと思う時期」をそれぞれ1つ選んでください。／妊娠・出産（SA）

性教育開始に適切だと思う時期／避妊

- 全体では、「中学生」(46.7%)が最も高く、「小学校高学年」(26.1%)も4分の1を超える。
- 【保護者】がより早期からの教育が必要だと認識している。

		n=	(%)				
			小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	学校では 扱うべきではない
全体		5,000	3.6	26.1	46.7	13.9	9.7
世代別	若者世代	1,420	2.3	18.0	46.4	21.9	11.4
	…男性・若者世代	380	2.1	17.4	43.2	21.6	15.8
	…女性・若者世代	1,023	2.4	18.3	47.4	22.0	9.9
	それ以外	3,580	4.2	29.3	46.9	10.7	9.0
保護者	保護者	2,248	4.0	31.1	47.6	9.8	7.4
	…男性・保護者	1,189	3.4	30.3	47.7	10.1	8.5
	…女性・保護者	1,056	4.6	31.8	47.7	9.6	6.3
	それ以外	2,752	3.3	21.9	46.0	17.2	11.5

Q 次の内容について、「教え始めるのに適切だと思う時期」をそれぞれ1つ選んでください。／避妊 (SA)

性教育開始に適切だと思う時期／性的同意・性暴力

- 全体では、「中学生」（43.7%）が最も高く、「小学校高学年」（23.9%）となる。
- 【保護者】がより早期からの教育が必要だと認識している。

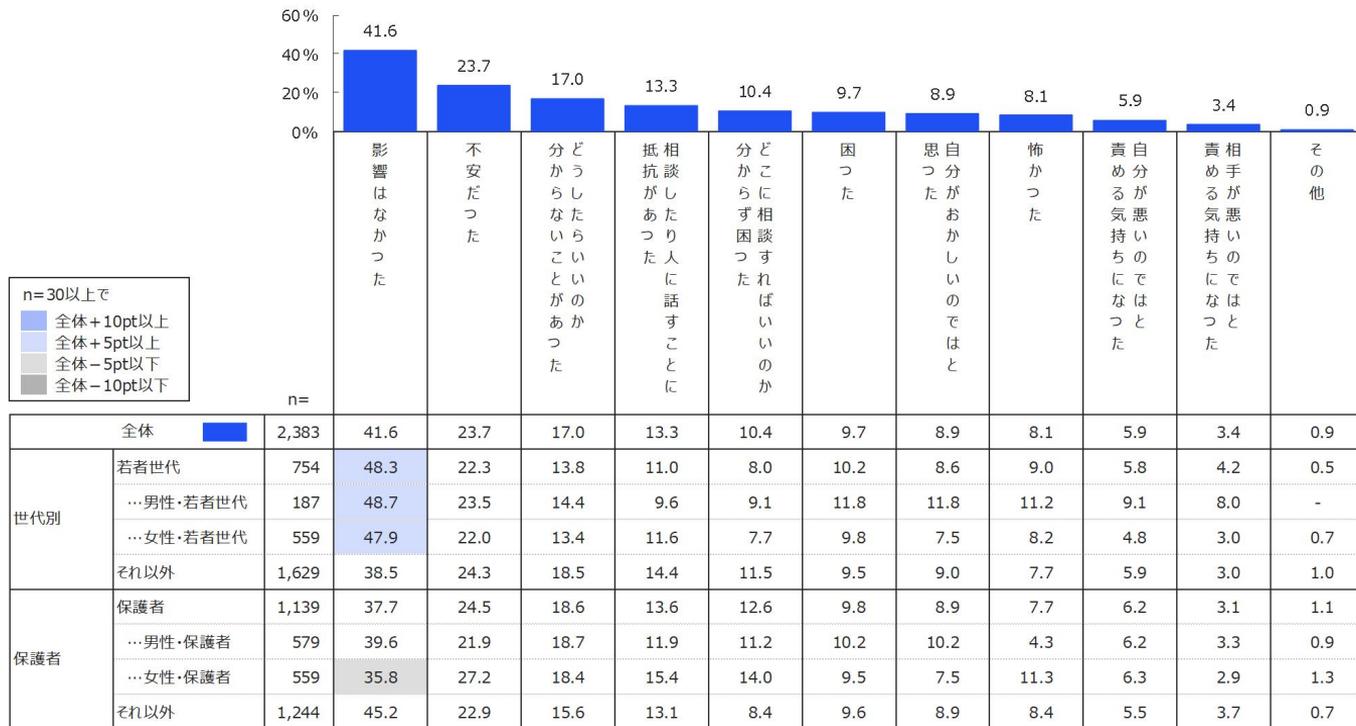
(%)

			小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	学校では 扱うべきではない
n=							
全体		5,000	5.6	23.9	43.7	16.4	10.5
世代別	若者世代	1,420	4.9	18.4	42.4	22.5	11.9
	…男性・若者世代	380	3.7	16.1	41.8	23.4	15.0
	…女性・若者世代	1,023	5.4	19.5	42.3	22.0	10.9
	それ以外	3,580	5.8	26.1	44.2	13.9	9.9
保護者	保護者	2,248	6.0	27.2	45.0	13.8	8.0
	…男性・保護者	1,189	4.3	25.9	45.8	14.9	9.1
	…女性・保護者	1,056	8.0	28.5	44.1	12.7	6.7
	それ以外	2,752	5.2	21.2	42.6	18.4	12.6

Q 次の内容について、「教え始めるのに適切だと思う時期」をそれぞれ1つ選んでください。／性的同意・性暴力（SA）

学校で教わらなかったことによる影響

- 全体では、「影響はなかった」（41.6%）がもっとも高いものの、「不安だった」（23.7%）、「どうしたらいいのかわからないことがあった」（17.0%）が続き、知識不足が心理的な不安や具体的な困りごとに繋がったケースもあると考えられる。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q 「もっと知りたかった」と選択した項目について、学校で教わらなかったことで、どのような影響がありましたか。(MA)

自由回答：学んだ内容に満足していますか？

<満足していない・どちらとも言えないと回答した理由> ※自由記述における主な意見をNPO法人ピルコンにより分類

■ からだと心を守る知識やスキルへのニーズ

- 「今から25年以上前は、10代後半や20代前半にかけては早く性行為する事が良いというか、カッコ良いみたいな感じがあった。とりあえず誰かと済ませておきたいという感覚でもあった。なのできちんと学校で性感染症や性暴力や同意について学んでいたら、その後のリスクも考える事ができたと思うし、もっと自分を大切にできたのではないかと思う」（45歳・女性）
- 「実生活で重要になる性的同意や、その根底にあるジェンダー平等について何も教わらず、性教育によって危険な行為が減ったと思えない」（24歳・女性）
- 「中学生になるとときにはすでに初潮を迎えて2年ほど経っており、そういった事から小学生のうちに学びたかった」（44歳・女性・保護者層）

■ 教育の曖昧さ、形骸化

- 「人生に関わる大事な内容なのに、教えられた内容が薄すぎる」（16歳・女性）
- 「もっとふみこんでほしかった。振り返るとあいまいすぎている」（47歳・女性・保護者層）
- 「教えてることが薄い、将来の役に何も立っていない、タブーとされている感じもよく理解できない」（27歳・男性）

■ 実践につながるスキルへのニーズ

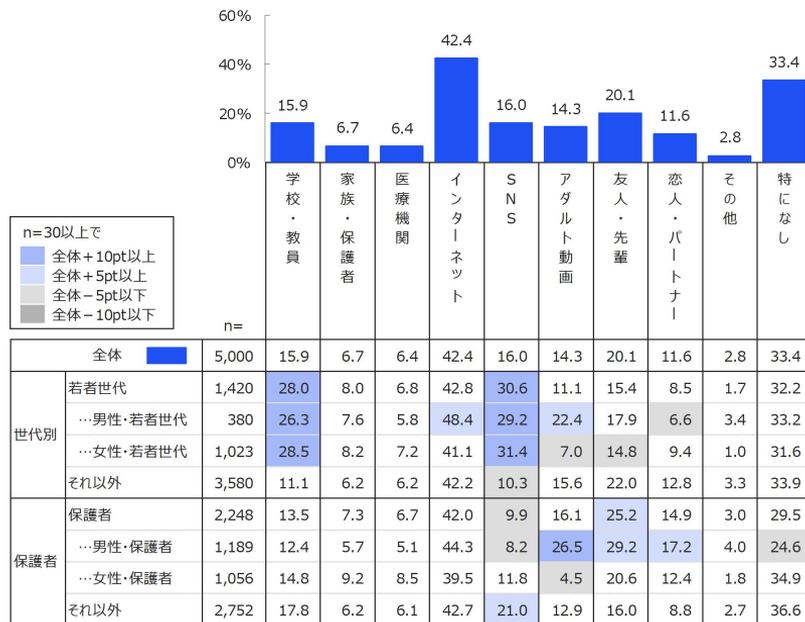
- 「人の身体のことについて解説されただけで、それに対する向き合い方などの指導はなかったから」（15歳・男性）
- 「理解はしたが、いざと言う時に学んだことをいかせていないきがしたから」（17歳・女性）

<満足していると回答した理由>

- 「避妊の大切さや命の尊さ、ジェンダー平等などを十分に学べたから」（16歳・女性）
- 「高校の時の性教育で、先生が結構オープンに性を語ってくれて、コンドームだったり出産の映像をみせてくれて、偏見のないニュートラルな視点で性教育をしてくれてよかったと思う」（47歳・男性・保護者層）

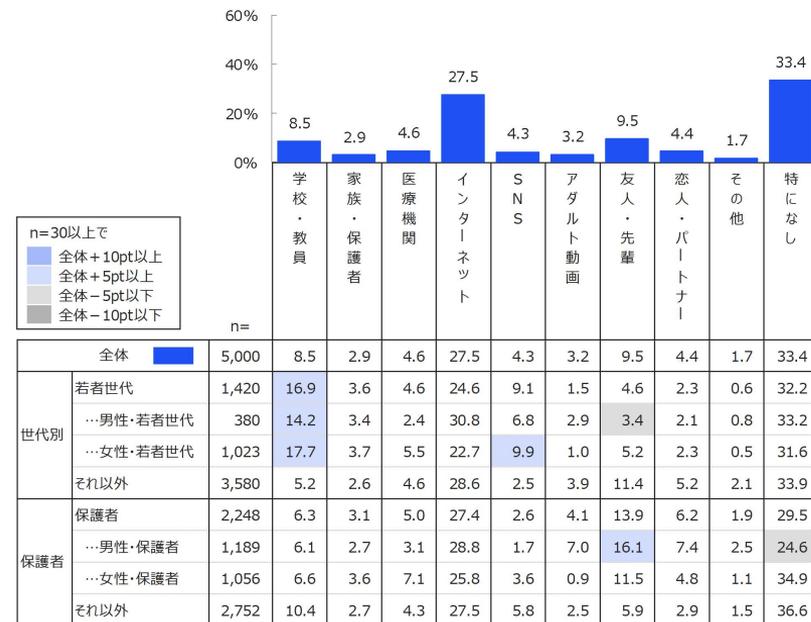
性に関する情報の入手先／最も信頼する情報源

- 全体では、情報の入手先として「インターネット」(42.4%)が最も高いが、信頼する情報源としては「特になし」(33.4%)が最も高くなる。
- 【若者世代】では、「SNS」(30.6%)「学校・教員」(28.0%)が入手先として高い傾向があり、【男性・保護者】では「アダルト動画」(26.5%)「友人・先輩」(29.2%)が高くなる。



<性に関する情報の入手先> ※複数選択可

Q 性に関する情報の入手先を教えてください。(MA)

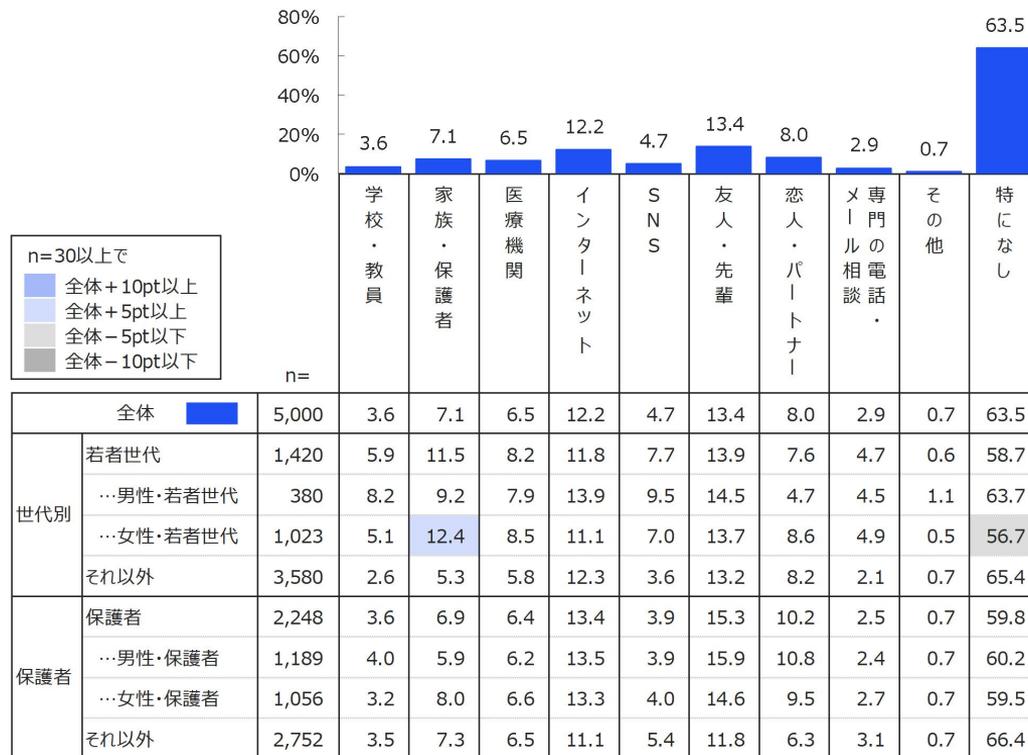


<最も信頼する情報源> ※1つ選択

Q 選択したうち、最も信頼する情報源を1つ選んでください。(SA)

性に関する相談先

- 全体でも世代別でも「特になし」（63.5%）が6割程度と過半数を占め、「学校」は3.6%、「医療機関」は6.5%にとどまる。性に関する悩みを相談しづらい現状が浮き彫りとなっている。



Q 性に関する相談先を教えてください。(MA)

自由回答：得られる相談・支援に満足していますか？

＜満足していない・どちらとも言えないと回答した理由＞ ※自由記述における主な意見をNPO法人ピルコンにより分類

■情報の信頼性への不安

- 「自分が知りたいことを調べるだけだからほんとに大切なことが調べれてるかわからないから」（21歳・女性）

■相談先がわからない

- 「誰に聞いていいかわからなかった」（34歳・男性・保護者層）
- 「今のところは特に何もないので満足はしているが、いざトラブルに巻き込まれた時にしっかりわかっている状態ではないと思ったから」（26歳・女性）

■相談先の選択肢が限定的／ない

- 「家族に相談するのがいちばん安心ではあるが、家族にできない相談もあるため」（17歳・女性）
- 「相談することはないが困ったとき頼るところがなかった」（49歳・女性・保護者層）
- 「インターネットでは正確な回答はもらえるかわからないし、対面では言いづらいことあるから」（38歳・男性・保護者層）

■相談への心理的ハードルがある

- 「ナイーブな問題なので気軽に聞けるところではない」（41歳・男性・保護者層）
- 「恥ずかしくて踏み切った相談ができない」（27歳・男性）

■専門性や安心して対面で相談することへのニーズ

- 「顔の見えない相手だからこそ話せることもあるけれど、顔の見える場所で信頼できる人に話したい気持ちもあるから」（16歳・女性）
- 「専門家の意見がほしいから」（39歳・男性・保護者層）

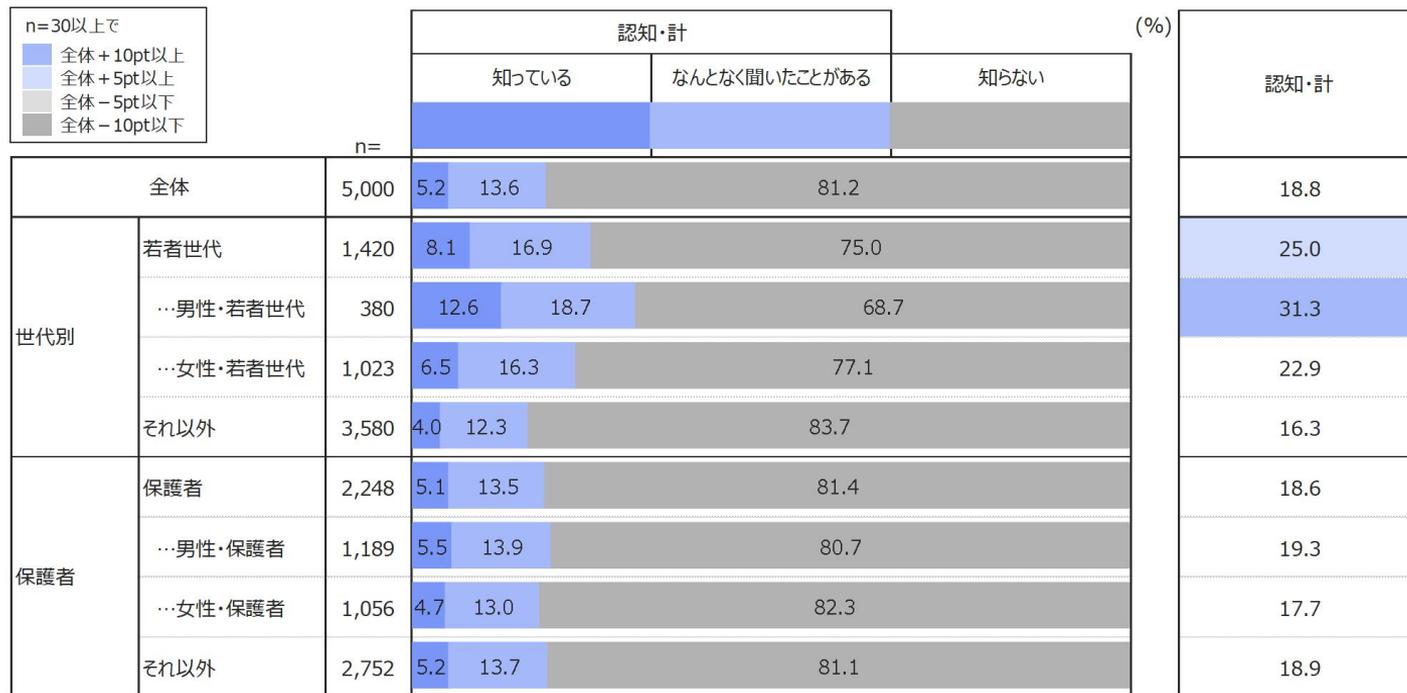
＜満足していると回答した理由＞

- 「きちんと情報をアップデートしている先生であり、専門知識や守秘義務があるという安心感から、なんでも質問できるただし、診察代はかかるので、非常に満足とまでは言えない」（41歳・女性・保護者層）

はどめ規定の認知

■ 全体では「はどめ規定」の認知率は「認知・計」で18.8%にとどまり、「知らない」（81.2%）が8割を超えることから、一般にほとんど浸透していないことがうかがえる。

■ 世代別では、【若者世代】の「認知・計」が25.0%と全体に比べてやや高い傾向がある。



Q 学校の教育内容について定める「学習指導要領」に「妊娠の経過は取り扱わないものとする」等の、性に関する学習内容を制限するいわゆる「はどめ規定」があることを知っていますか？ (SA)

はじめて規定に関する意見

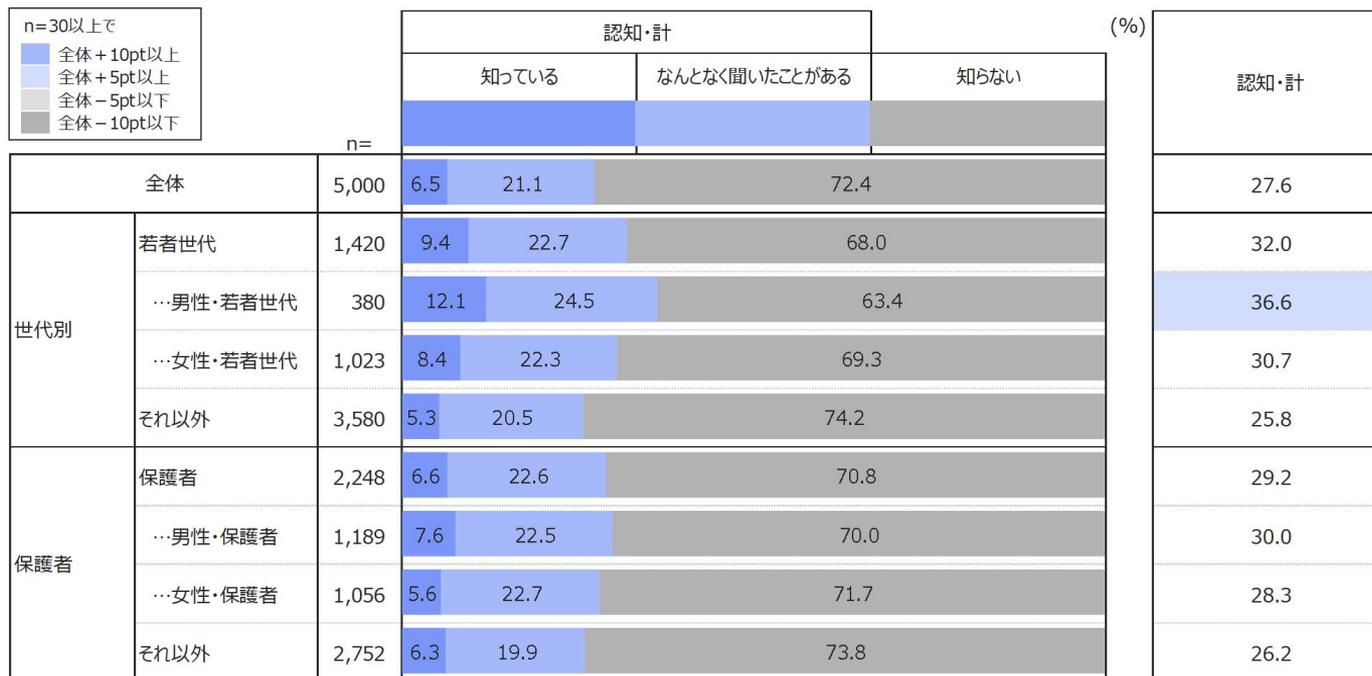
- 全体では、「必要な教育を妨げている」（21.6%）と「制限は一部残しつつ、性交・避妊は教えるべき」（33.5%）を合わせると約6割がより踏み込んだ教育を求めており、「制限は必要」（7.8%）は1割に満たない一方で、「わからない」（37.1%）も多い。
- 世代別では、特に【女性・保護者】の教育の拡充を求める声が多い傾向にある。

			(%)			
			必要な教育を妨げている	内容の制限は一部残しつつ、性交・避妊は教えるべき	制限は必要	わからない
n=						
	全体	5,000	21.6	33.5	7.8	37.1
世代別	若者世代	1,420	20.4	36.6	6.4	36.6
	…男性・若者世代	380	23.7	31.8	7.9	36.6
	…女性・若者世代	1,023	19.2	38.9	5.8	36.2
	それ以外	3,580	22.0	32.3	8.4	37.3
保護者	保護者	2,248	23.4	34.6	8.7	33.3
	…男性・保護者	1,189	22.3	32.2	9.5	36.0
	…女性・保護者	1,056	24.8	37.2	7.8	30.2
	それ以外	2,752	20.0	32.7	7.1	40.2

Q「妊娠の経過は取り扱わないものとする」という「はじめて規定」によって、学校現場では性交や避妊について十分に教えられず、結果として子どもや若者が必要な知識を得られないという懸念があると思いますか。このことについて、あなたの考えに近いものを教えてください。（SA）

包括的性教育の認知

- 全体では、包括的性教育の「認知・計」は27.6%にとどまり、「知らない」(72.4%)が7割を超え、社会的な認知度は高いとは言えない。
- 世代別では、【若者世代】の認知率が全体を上回る傾向にある。

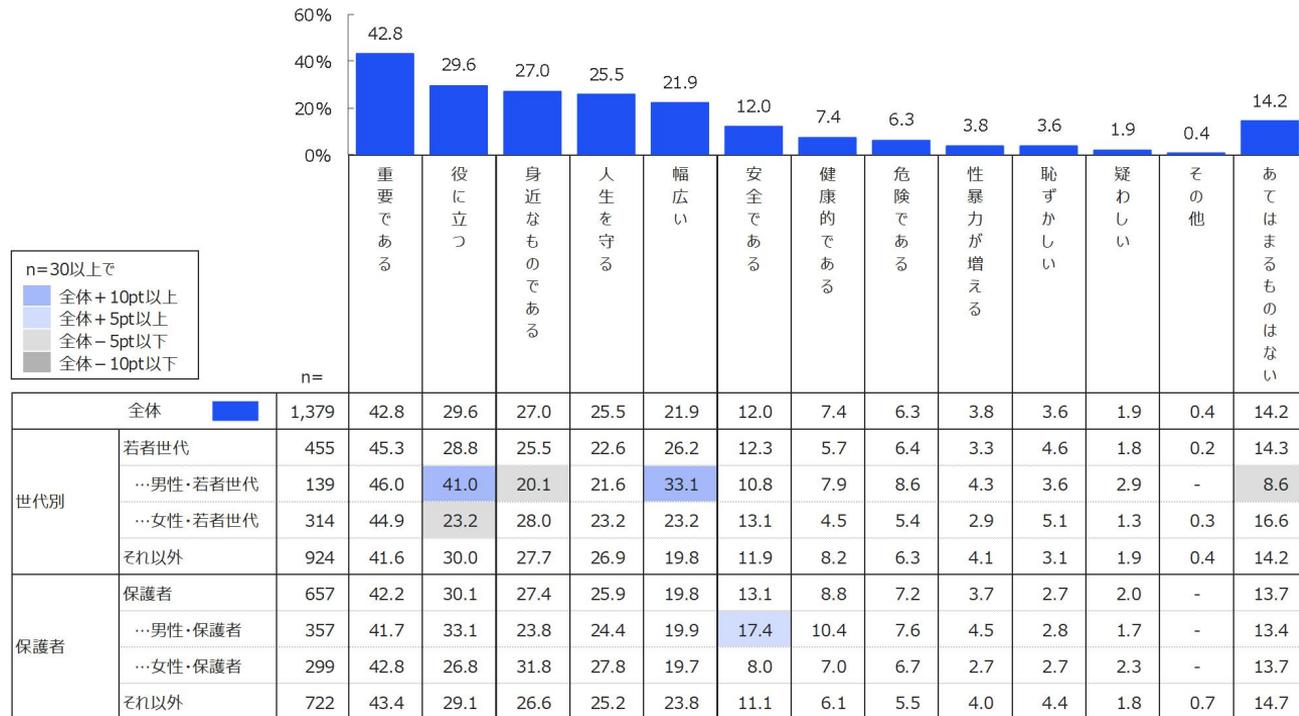


Q「包括的性教育」は、身体や生殖のしくみだけではなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福など幅広いテーマを含む教育と知っていましたか？(SA)

包括的性教育のイメージ

■全体では、「重要である」（42.8%）が最も高く、「役に立つ」（29.6%）、「身近なものである」（27.0%）が続き、認知層においては肯定的なイメージが定着している。

■世代別では、【男性・若者世代】で、「役に立つ」（41.0%）、「幅広い」（33.1%）が高い傾向がある。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q 包括的性教育についてどのようなイメージがありますか？最大3つまで選んでください。（MA）

包括的性教育の導入・拡充賛否

- 全体では、「賛成・計」（47.9%）が「反対・計」（6.9%）を大きく引き離して支持が優勢であるものの、「どちらとも言えない」（45.3%）が半数近くを占める。

		n=	反対・計		どちらとも言えない	賛成・計		反対・計	賛成・計
			強く反対	反対		賛成	強く賛成		
全体		1,379	2.1	4.8	45.3	37.2	10.7	6.9	47.9
世代別	若者世代	455	1.8	5.5	42.9	39.1	10.8	7.3	49.9
	…男性・若者世代	139	3.6	2.2	36.7	40.3	17.3	5.8	57.6
	…女性・若者世代	314	1.0	7.0	45.2	38.9	8.0	8.0	46.8
	それ以外	924	2.3	4.4	46.4	36.3	10.6	6.7	46.9
保護者	保護者	657	2.9	4.1	45.2	36.7	11.1	7.0	47.8
	…男性・保護者	357	4.5	3.9	44.0	38.1	9.5	8.4	47.6
	…女性・保護者	299	1.0	4.3	46.5	35.1	13.0	5.4	48.2
	それ以外	722	1.4	5.4	45.3	37.7	10.2	6.8	47.9

Q 日本の学校教育における包括的性教育の導入・拡充にどの程度賛成ですか。(SA)

自由回答：性教育に関する意見や要望

※自由記述における主な意見をNPO法人ピルコンにより分類

■早期教育、段階的な教育の必要性

- 「『この内容はこの学年』という決め方ではなく、同じ内容でも小さい頃から柔らかい表現で教え、段階的に難しい表現を使って具体的に教えるようにするなどの教え方がよいと思う」（24歳・女性）
- 「自分の時代は高学年になって急に教わったように思うので、もっと低学年の頃から少しずつ教えてもらっていたら、もっと自然に性教育も受け入れられるのと思う」（49歳・女性・保護者層）
- 「繊細なところだけど恐れず繰り返し教育の場面、回数を増やして欲しい。1回程度じゃ意味ないから」（46歳・男性・保護者層）

■自分と相手を守る知識の必要性

- 「妊娠や性暴力等の当事者の人生を左右する知識は義務教育で教えた方がよいと思う」（22歳・男性）
- 「性行為について無知だった。お互いを守るために学ぶことは大切である」（44歳・男性・保護者層）

■権利としての性教育

- 「指導要領があっても学校によって取り組みに差があると感じることがしばしばある。子供の機会は平等にしてあげて欲しい」（46歳・女性・保護者層）
- 「難しいがとても大事なことなので何かしらの方法で教育する場をもうけてほしい」（40歳・男性・保護者層）

■SNS、ネット社会に必要な教育

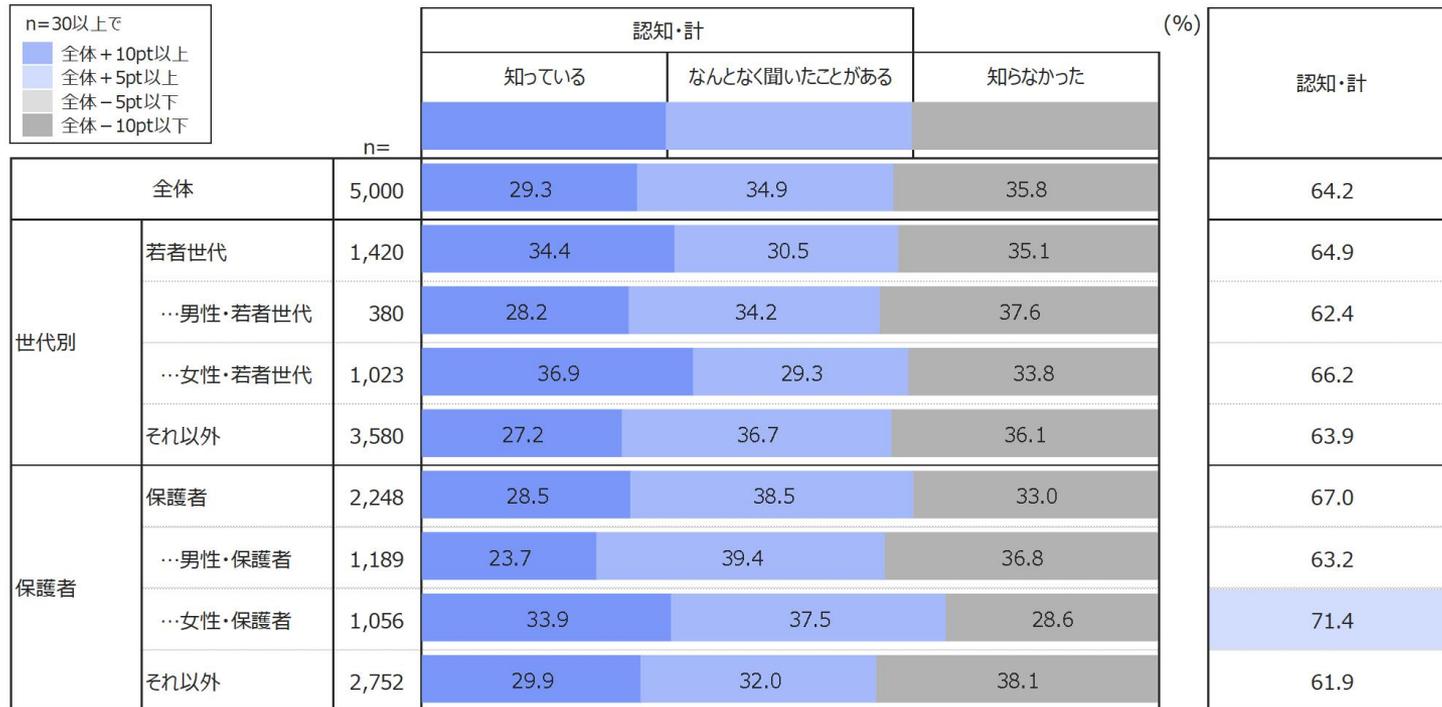
- 「小学生からスマートフォンを持っている子どもが多く、SNSでは様々な投稿が問題になっていることがとても気になります。今の時代に合わせた教育が必要だと感じています」（50歳・女性）

■性に関してタブー視することの影響

- 「隠すべきものという気風で誰に相談したらよいかわからず思春期苦しみました。ぜひ恥ずかしいものではないとオープンにしてほしいです」（46歳・女性・保護者層）

緊急避妊薬の効用認知

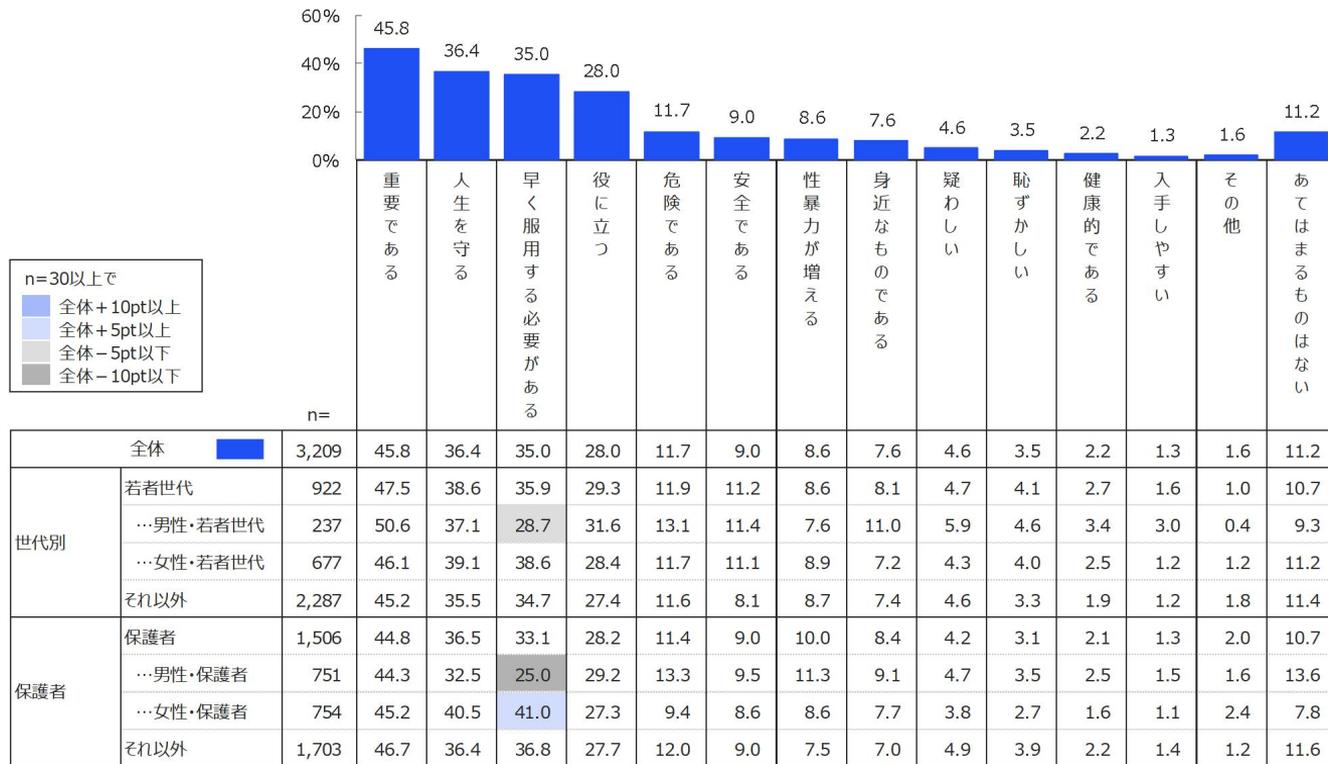
- 全体では、緊急避妊薬の「認知・計」は64.2%で、「知らなかった」(35.8%)も3割を超えており、万が一の際のセーフティネットとしての知識が十分に浸透しきっていない状況にある。
- 若者世代、保護者共に女性の認知度の方がやや高い傾向となった。



Q「緊急避妊薬」は、妊娠の可能性のある性行為から、女性が72時間以内に服用することで、高い確率で妊娠を防げる薬と知っていましたか？(SA)

緊急避妊薬のイメージ

■全体では、「重要である」(45.8%)がもっとも高く、その社会的意義や時間的制約のある特性への理解が進む一方、「入手しやすい」は1.3%と極めて低く、アクセスの悪さが課題として浮き彫りになっている。

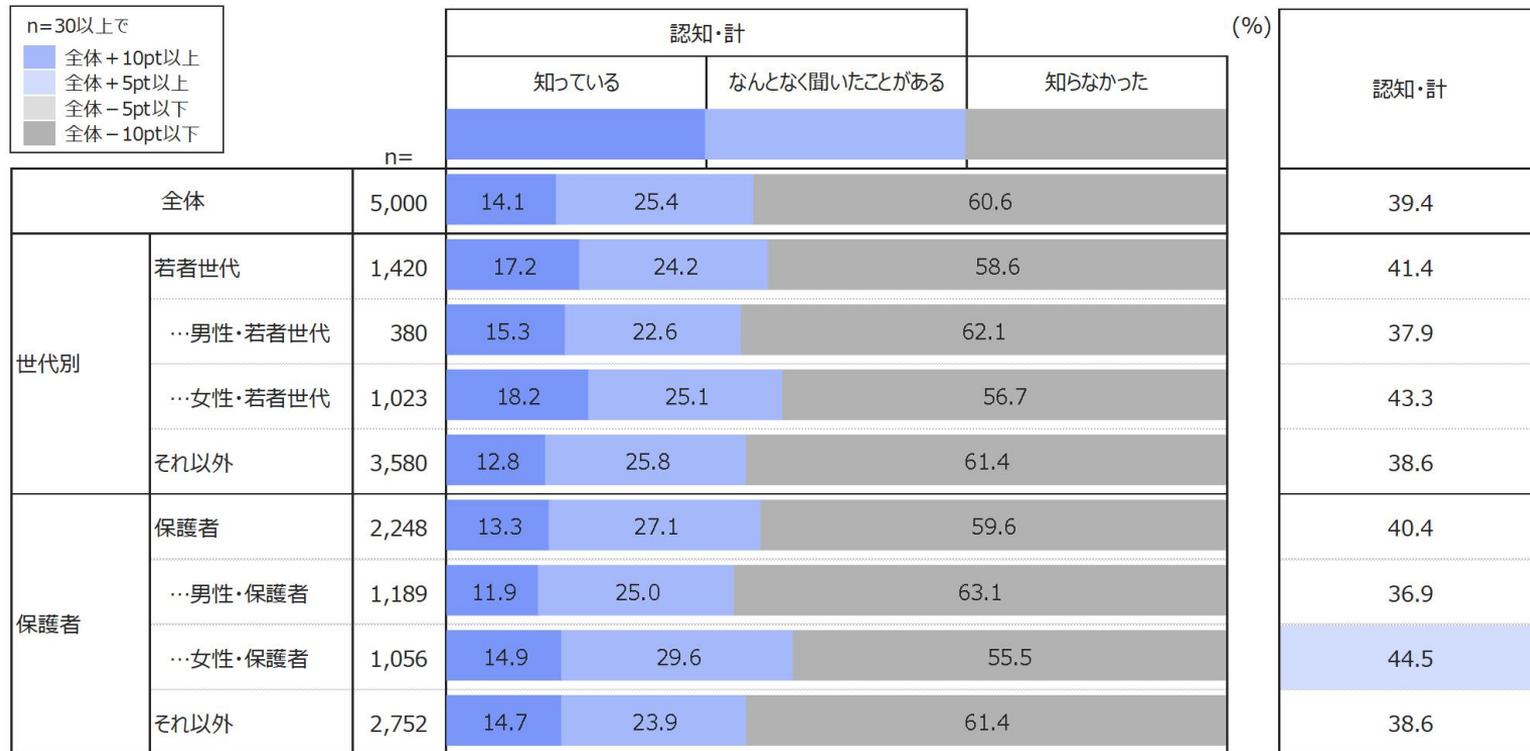


※全体の値を基準に降順並び替え

Q 緊急避妊薬についてどのようなイメージがありますか？最大3つまで選んでください。(MA)

緊急避妊薬の処方箋なし販売の開始認知

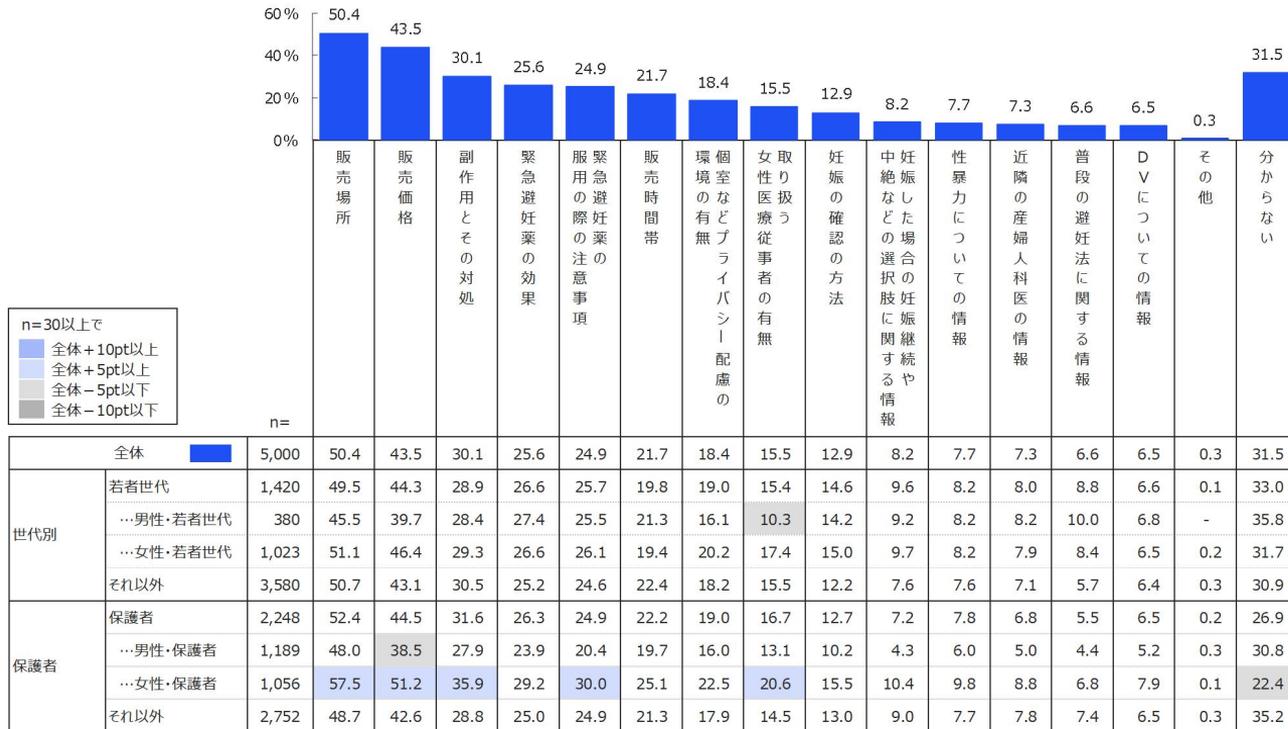
- 全体では、「知っている」（14.1%）と「なんとなく聞いたことがある」（25.4%）を合わせた認知率は約4割にとどまり、制度変更の周知が十分には浸透していない。



Q 緊急避妊薬は、2026年2月頃から一部薬局で処方せんなしでの販売が始まる予定です。このことを知っていましたか？（SA）

緊急避妊薬使用時に知りたいこと

- 全体では、「販売場所」（50.4%）、「販売価格」（43.5%）が突出して高く、物理的・経済的なアクセシビリティ情報が求められている一方、副作用や効果といった安全性への情報ニーズも根強い。
- 【女性・保護者】では、複数の項目で全体より値が高く、関心が高いことがうかがえる。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q 緊急避妊薬が必要となったとき、入手や使用にあたって知りたいと思うことはありますか？ (MA)

緊急避妊薬入手時の薬局での所要時間希望

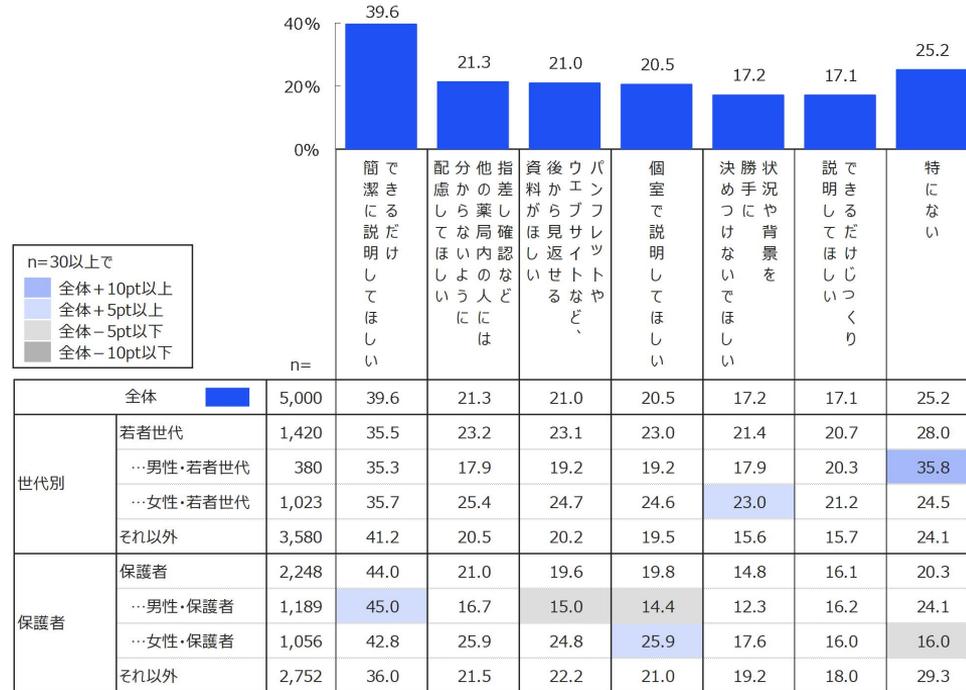
■全体では、「5分未満」（36.0%）、「5～15分未満」（34.8%）を合わせると7割強に達しており、多くが15分以内の迅速な提供を求めている。

			(%)				
			5分未満	5～15分未満	15分～30分未満	30分～1時間未満	1時間以上でも可
n=							
全体		5,000	36.0	34.8	17.4	5.8	6.0
世代別	若者世代	1,420	30.4	37.1	18.8	6.5	7.2
	…男性・若者世代	380	29.7	37.4	17.9	6.1	8.9
	…女性・若者世代	1,023	30.4	37.2	19.1	6.7	6.5
	それ以外	3,580	38.2	33.9	16.9	5.5	5.5
保護者	保護者	2,248	39.2	33.3	16.6	5.8	5.1
	…男性・保護者	1,189	39.3	31.4	17.4	6.9	5.0
	…女性・保護者	1,056	39.1	35.6	15.5	4.6	5.1
	それ以外	2,752	33.3	36.1	18.1	5.7	6.8

Q 緊急避妊薬を薬局で入手する際に、薬局でかかる所要時間の希望はありますか？（SA）

緊急避妊薬入手時の薬局での薬剤師の説明希望

- 全体では、「できるだけ簡潔に説明してほしい」（39.6%）がもっとも高く、心理的負担や緊急性を考慮した迅速な対応を求める声大きい。
- 「他の人には分からないように配慮してほしい」「個室で説明してほしい」といったプライバシー保護に関する要望や、「後から見返せる資料がほしい」といった安心感を求める声それぞれ2割を超えた。

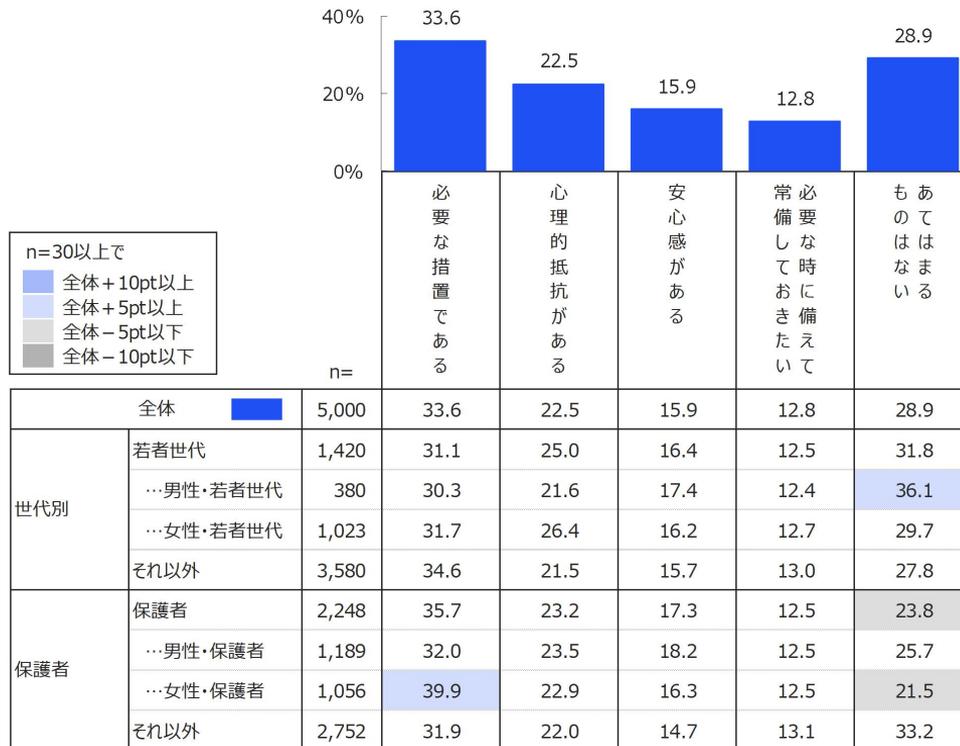


※全体の値を基準に降順並び替え

Q 緊急避妊薬を薬局で入手する際に、薬剤師からの説明に関する希望はありますか？（MA）

緊急避妊薬入手時の薬剤師の面前服用についての意見

- 全体では、「必要な措置である」(33.6%)が最多だが、「心理的抵抗がある」(22.5%)も2割を超えている。
- 【女性・若者世代】において「心理的抵抗がある」(26.4%)は全体を上回り、当事者にとって心理的なハードルとなっている現状が表れている。

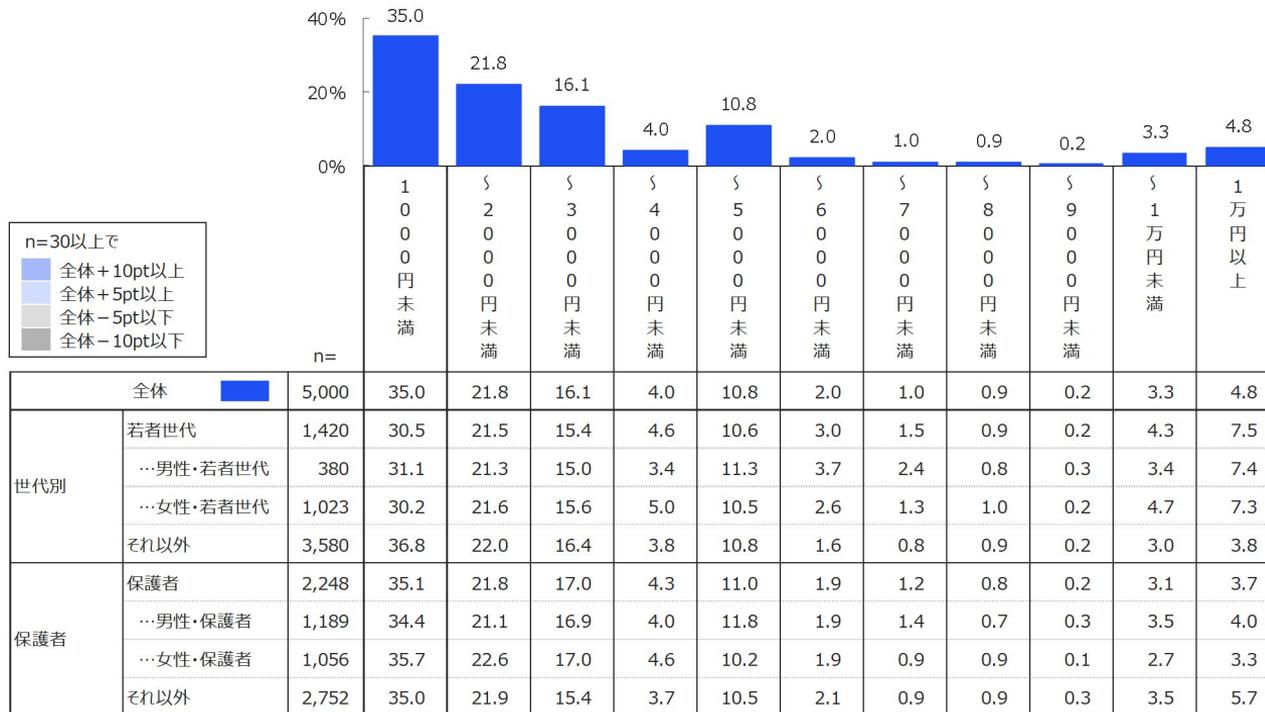


※全体の値を基準に降順並び替え

Q 緊急避妊薬を薬局で入手する際に、薬剤師の面前で服用しなければ購入できませんが、これについてどう思いますか？ (MA)

緊急避妊薬が確実に入手できる価格

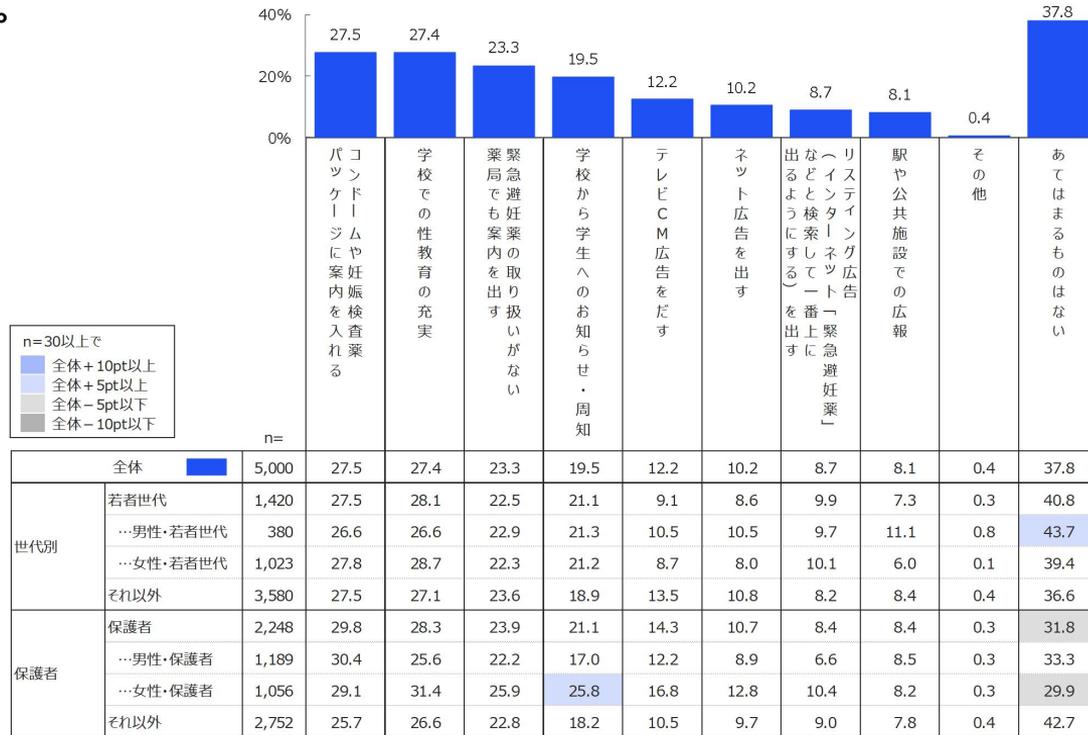
- 薬局で購入できる要指導医薬品の緊急避妊薬の希望小売価格は7,000円～7,500円程度であるにも関わらず、確実に入手可能な価格については「1,000円未満」（35.0%）が最も高く、「3,000円未満」以下では7割強（72.9%）に達した。



Q 緊急避妊薬がいくらであれば確実に入手できると思いますか?下記から一つ選んでください。(SA)

緊急避妊薬の情報周知に関する要望

- 全体では、「コンドームや妊娠検査薬パッケージに案内を入れる」(27.5%)、「学校での性教育の充実」(27.4%)が高く、商品の購入時や教育現場がもっとも有効な周知手段と考えられている。
- 【女性・保護者】において「学校での性教育の充実」(31.4%)、「学校から学生へのお知らせ・周知」(25.8%)の割合が高い傾向にあった。



Q 情報周知のため国等に行ってほしい方法などがあれば教えてください。(MA)

*全体の値を基準に降順並び替え

自由回答：緊急避妊薬の入手や情報についての希望

※自由記述における主な意見をNPO法人ピルコンにより分類

■ アクセス改善に関して

- 「必要な人が必要な時に、簡単にかつ周囲の眼とか、気兼ねすることなく、入手、利用出来るようになれば良いと思う」
(47歳・男性)
- 「地方の薬局でも入手できるよう整備して頂きたい」 (33歳・男性)

■ プライバシーに関して

- 「説明書に個室があったとて、個室に入った=そういう事、となるのが嫌。何かあった時にすぐ対応出来るように、常備しておきたい」 (39歳・女性・保護者層)

■ 面前服用に関して

- 「人前で飲まないといけないのはメンタルにくるので個室で一時退室してもらいたい」 (17歳・女性)
- 「薬剤師の面前はほらない」 (16歳・女性)

■ 情報の周知、入手先のわかりやすさ

- 「この薬を使わなければならない方は、それなりの理由があると思うので、出来るだけ早く分かりやすく入手先が調べられるようにしてほしい」 (49歳・女性・保護者層)
- 「『存在自体』をもっと積極的に広報する必要があると思います！悲劇的な結果を招かない助けになり、人生を救える機会を増やすと想います」 (36歳・女性)

■ 性教育の必要性

- 「ネットで『緊急避妊薬が手軽に購入出来るようになると性犯罪、気軽な性行為が増えて良くない』などの意見が多く見られたので、大人の世代に対してもCM広告等での性教育、意識改革が必要だと思う」 (24歳・女性)

■ 性暴力に対するケア

- 「性被害にあった人の心と体のケアを丁寧にしてくれる医療や機関がたくさん増えて、誰でも必ずケアを受けられる様になって欲しい」 (38歳・女性)

本調査からの提言

- 小学校・中学校段階から「妊娠・出産」「避妊」「性的同意・性暴力」などの幅広い学習を学校教育で充実させること：
次回2030年度（令和12年度）から開始される次回学習指導要領の改訂にも反映すべき
- 若者世代が安心して信頼できる、性に関する情報源、相談・支援を受けられる環境整備を進めること
- 「緊急避妊薬」の価格や入手場所についての周知を広げ、より入手しやすい価格に見直すこと